

事業概要シート

施策 0402 地域間交流の推進

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業	現状維持	予算額	1,942 千円
				《 》 328 千円
事業期間	平成13年度 ~	財源内訳	国庫支出金	0 千円
			県支出金	0 千円
根拠法令要綱等	大村市中高生海外派遣事業参加費補助金交付要綱、天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議規約	地方債	0 千円	
		その他	1,882 千円	
		一般財源	60 千円	

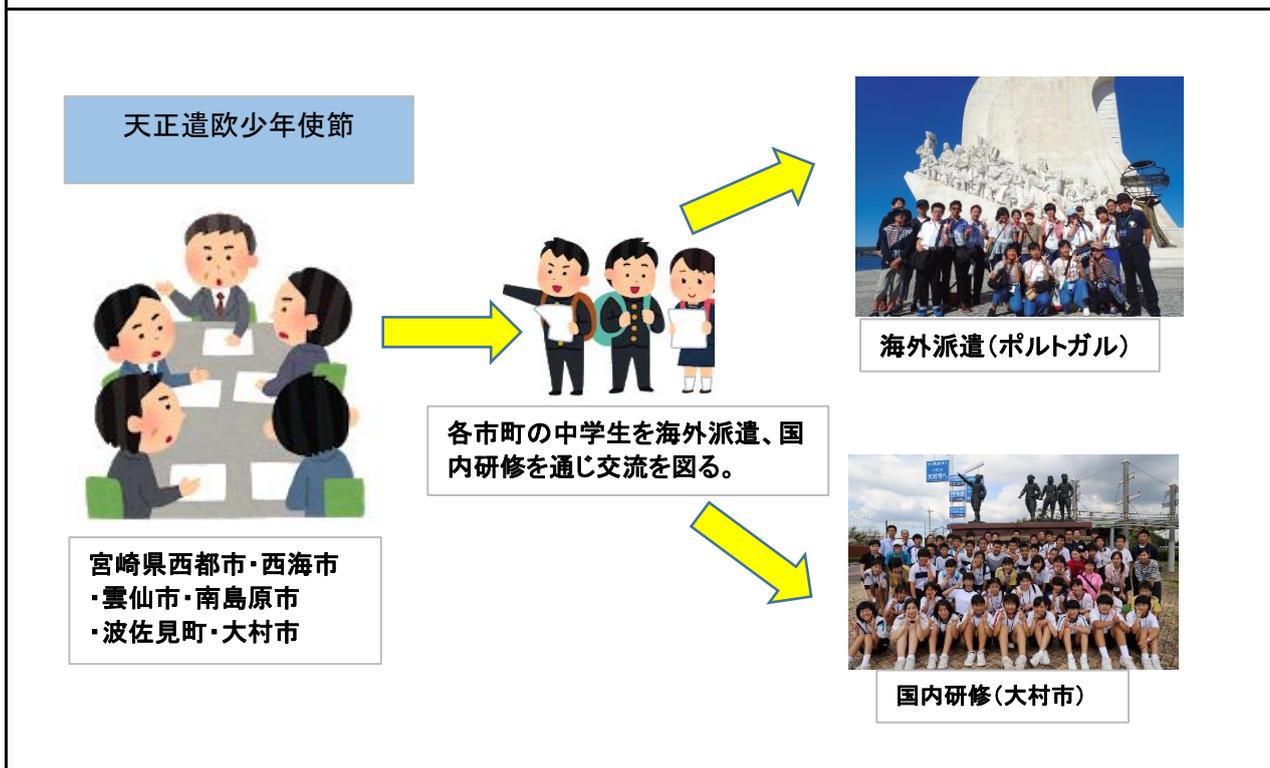
【事業の目的・概要・対象】

(目的) 天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議を構成する5市1町（宮崎県西都市・大村市・西海市・雲仙市・波佐見町・南島原市）の中学生を対象に、海外派遣や国内研修交流を通して、天正遣欧少年使節の功績を認識し、出会う人々との交流を深め、交流促進を担う人材育成を図る。

(対象) 中学生

(概要) 3年に1度の海外派遣（天正遣欧少年使節が立ち寄った地域）及び国内の天正遣欧少年使節ゆかりの地での国内研修交流（海外派遣の年度以外）を実施する。

自治体名	由来
西都市	正使主席 伊東マンショ出身地
西海市	副使 中浦ジュリアン出身地
雲仙市	正使 千々石ミゲル出身地
南島原市	有馬晴信
波佐見町	副使 原マルチノ出身地
大村市	大村純忠



【背景】

天正遣欧少年使節の偉大な功績を中学生に認識、浸透させ知識を豊かにすることで地元愛を育み、また、ゆかりの地との友好交流関係を続けていくことで、人材育成などを図ることが求められている。

担当課	企画政策課	課長	横田 良一
担当者	松園 洋平	問合せ先	0957-53-4111 (内線215)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	国内・国外研修事業参加者数	目標値 人	8	2	13	2	13
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①		目標値					
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	119	2,011	328	1,942	328	328	5,056
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	10	334		1,882			2,226
一般財源	109	1,677	328	60	328	328	2,830
人件費	3,322	3,296	3,676	3,676	3,676	3,676	21,322
職員(人)	0.45人	0.45人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	2.90人
時間外勤務(h)	25h	12h	20h	20h	20h	20h	117h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	3,441	5,307	4,004	5,618	4,004	4,004	26,378

妥当性 (市の関与)	自治体交流の一環として実施するものであり、自治体が主体的に関与する必要がある。5市1町の自治体交流として中学生を天正遣欧少年使節が辿った地域に派遣し、人材を育成することは地域間交流の推進に必要である。
有効性 (施策貢献度)	天正遣欧少年使節は本市の歴史観光の中核であり、ゆかりの深い地域間の交流を深めるためには有効であり、天正遣欧少年使節に基づいた中学生を中心とした交流を行うことは、地域間交流の推進の手段として必要な事業である。
効率性 (コスト)	事業経費については各自治体の均等割で実施されている。また、参加者も参加負担金（海外派遣は1/10）を負担している。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり